



2024年6月期第2四半期
決算補足資料
2024年2月14日

DNホールディングス株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場 7377)

令和6年能登半島地震の被災者の皆様へ

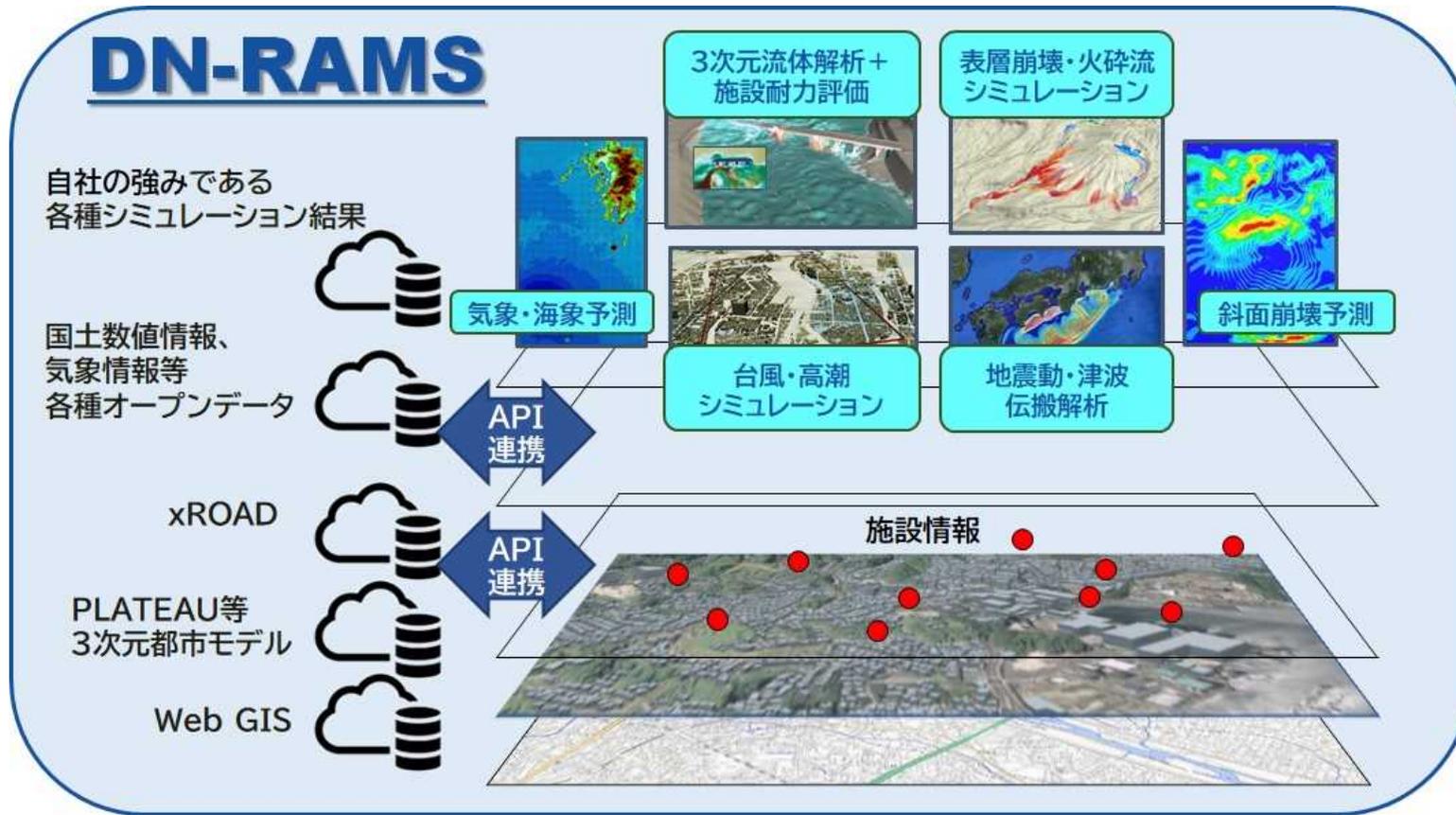
この度の「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

弊社グループではこの度の地震に関しまして、事業会社で1月2日に災害対策本部を設置し、調査・設計の一体化による迅速な対応に努めております。

社員一同、皆様の安心・安全と、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

DNホールディングス株式会社
代表取締役社長執行役員 新井 伸博

研究開発 | クラウドサービス「DN-RAMS」 (インフラ技術研究所)



※DN-RAMS (ディーエヌ・ラムス: Dia Nippon – Risk Assessment Management Service) とは、弊社グループの技術開発を、デジタルツインとして統合・集約し、防災・保全のリスクアセスメントやマネジメントに資する情報を提供するクラウドサービスの呼称です。

地上・地中を網羅した3Dデジタルツインを構築し、各種オープンデータと大日本ダイヤコンサルタント株式会社の強みである高度なシミュレーション技術を組み合わせ、デジタルツイン上でモデル化した構造物等の時々刻々変化する地震や津波、洪水等作用力と耐荷力に基づく迅速なリスク評価の実現により、災害リスク軽減への貢献を目指します。

デジタルツインとは、現実の世界から収集したさまざまなデータをもとに、まるで双子であるかのように仮想空間に再現する技術です。

コンピュータ上では、収集した膨大なデータを元に、現実に近いシミュレーションが可能となります。

まずは橋梁をターゲットとして、デジタルツインの構築・活用を開始し、最終的には、インフラ施設全域に拡大・展開していきます。

第2四半期決算 業績ハイライト

はじめに

当社は、2021年7月14日付で共同株式移転の方法により、大日本コンサルタント株式会社及び株式会社ダイヤコンサルタントの共同持株会社として発足いたしました。今期は設立第3期目となります。

ポイント

- 上半期は期首受注残高減少により売上高が前年同期比で減少したことが影響し、人的投資等の費用増加を賄えず、営業利益等は減益となりました。
- 契約工期・設計変更等が3月に集中するため、第3四半期に業務の進捗度が偏る傾向であること、また、好調な新規受注（受注高は前年同期比+31億円、122%）に支えられ、第2四半期末における受注残高が確保されていることから、通期では公表した業績予想を達成する見通しです。

(単位：百万円)

区分	2023年6月期	2024年6月期	前年同期比		通期業績予想	
	第2四半期(実績)	第2四半期(実績)	増減	比率	計画	進捗率
売上高	14,841	14,428	△413	97.2%	34,500	41.8%
営業利益 (△損失)	623	△556	△1,179	—	2,400	—
経常利益 (△損失)	617	△543	△1,161	—	2,450	—
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益(△損失)	468	△424	△892	—	1,700	—
1株当たり当期 (四半期) 純利益(△損失)	58円42銭	△52円63銭	△111円05銭	—	211.27円	—

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

第2四半期決算 受注・売上状況（事業別）

ポイント

- 建設コンサルタント事業及び地質調査事業ともに受注は前年同期を上回り、堅調に推移しています。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高				売上高			
	2023年6月期 第2四半期 実績	2024年6月期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率	2023年6月期 第2四半期 実績	2024年6月期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
建設コンサルタント事業	12,387	14,464	2,077	116.8%	12,580	11,815	△764	93.9%
地質調査事業	1,411	2,461	1,050	174.4%	2,261	2,612	351	115.5%
合計	13,798	16,926	3,128	122.7%	14,841	14,428	△413	97.2%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

事業内容

事業区分	主要業務	主要な会社名
建設コンサルタント事業	社会資本整備に関するコンサルタント業務のうち、調査・計画・設計・工事監理など	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd. N E テクノ株式会社
地質調査事業	地質・地盤・地下水・資源の調査・解析	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 有限会社エーシーイー試錐工業

第2四半期決算 受注・売上状況（顧客別）

ポイント

- ▶ 受注高（顧客別）は、地方自治体の受注が前年同期より減少していますが、中央省庁、電力関連会社及び民間その他の受注が前年同期より増加し、国内事業全体としては順調に推移しています。

受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高			
	2023年6月期 第2四半期 実績	2024年6月期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
国内事業	13,531	16,764	3,233	123.9%
◆ 中央省庁	3,257	4,016	758	123.3%
◆ 地方自治体	6,953	5,407	△1,545	77.8%
◆ 高速道路会社	1,461	2,292	831	156.9%
◆ 電力関連会社	485	2,149	1,664	443.2%
◆ 民間その他	1,373	2,897	1,524	211.0%
海外事業	266	162	△104	60.7%
国内・海外事業合計	13,798	16,926	3,128	122.7%

売上高			
2023年6月期 第2四半期 実績	2024年6月期 第2四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
14,476	14,268	△208	98.6%
5,132	4,633	△498	90.3%
5,194	4,811	△382	92.6%
1,239	1,354	115	109.3%
772	1,337	565	173.1%
2,137	2,130	△7	99.7%
364	159	△205	43.7%
14,841	14,428	△413	97.2%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

構造保全分野 | 土木学会デザイン賞奨励賞受賞 | 竹芝デッキ 港歩行者専用道第8号線



大日本ダイヤコンサルタント株式会社が設計を担当した「竹芝デッキ 港歩行者専用道第8号線」（東京都港区）が、2023年度土木学会デザイン賞奨励賞を受賞しました。

《事業者》株式会社アルベログランデ
《設計者》大日本コンサルタント株式会社
（現：大日本ダイヤコンサルタント株式会社）
《施工者》鹿島建設株式会社
〈施工協力者〉宮地エンジニアリング株式会社
日本ヒューム株式会社

（参考）

「土木学会デザイン賞」は公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会が主催する顕彰制度です。2001年に創設され、正式名称は「土木学会景観・デザイン委員会デザイン賞」といいます。



社会創造分野 | まちなかの実証実験『駅前大通りWALK AROUND』を支援



愛知県豊橋市は、2023年10月27日（金）から11月5日（日）にかけて、駅前大通の一部（emCAMPUS周辺ほか）で、誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りとなるような空間を創出し、駅前大通りを魅力的な通りにするためにはどのような活用が効果的かを検証しました。活用ニーズを知るためにミニマーケット等の出店をしたり、効果検証のために緑あふれるベンチなどが設置されました。

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所 未来都市推進室は、まちなかの実証実験『駅前大通りWALK AROUND』の全体企画と統括を担当し、支援いたしました。

（撮影：高見純平）

国土保全分野 | SDGsへの取り組み | 環境学習（お魚教室）の実施

大日本ダイヤコンサルタント株式会社では、未来を担う子供たちに自然の豊かさとそれを守り育てる取り組みを実感してもらうとともに、人と自然がふれあえる持続可能な水辺環境の保全と創出に着目した環境学習を提供しています。



中学生・高校生対象の
体験型学習会
(2023年10月29日に実施)



小学生対象の出前教室
(2024年1月15日に実施)

■■ 環境学習（お魚教室）実施のコンセプト ■■

- SDGsの「6.安全な水」と「15.陸の豊かさ」を持続させる活動
- 水辺の生きものや自然への愛着を育む学習の場を提供
- 自然環境や美しい景観の保全意識を高めるための啓発

【お魚教室のプログラム】

- ① 体験型学習会：川・池での魚採り・野外学習
- ② 自然観察会：ビオトープ池での生きもの観察・野外学習
- ③ 出前教室：室内学習・水槽による生きもの展示・標本観察
- ④ オンライン：室内学習・動画放映・クイズなど

※相談・依頼のあった学校や福祉施設の要望に応える学習提供

[さいたま市と共同（市のHPによる学習内容紹介）]

<https://www.city.saitama.lg.jp/001/009/017/002/002/p097806.html>

[埼玉県と共同（県のHPによる学習内容紹介）]

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0501/kankyogakusyu/ouentai-dainippondaiyaconsultant.html>

エネルギー施設分野 | 洋上風力発電調査への参入



大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、次世代海洋調査株式会社に出資するなど、海洋地質・地盤調査への参入を目指してまいりました。

その結果、洋上風力発電開発候補エリアの海洋地質・地盤調査を受注いたしました。

洋上風力発電調査においては、先行する企業やコンソーシアムが多いなか、地質・地盤条件を詳細に検討して、地質リスクを考慮して提案した合理的な調査計画を評価していただきました。

また、発電コストを低減できる大型化に対応した風力発電施設を、日本特有の諸条件（台風、地震）に適用するため、橋梁で培った技術を活かし、合理化が図れる従来にない構造も提案してまいります。
(右図：展示会用ポスター)

これからも、エネルギー施設を対象とした調査・解析で培った、地質・地盤を評価する技術をもとに、地質リスクを考慮した調査・提案を進めてまいります。



提案する風力発電施設の合理化構造

新領域事業分野 | 飛鳥山公園の魅力向上事業シブサワハット

特別企画

今年5月GWに開催され大好評だった王子本町二丁目の
町会イベント・星空シアターが飛鳥山公園に！！
レジャーシート・キャンピングチェア、
ブランケットなどお持ちになり
ご家族で、お友達と、ご近所さんと
お気軽にご参加ください。

いつもの飛鳥山公園が、一夜限りの映画館に。
日没後上映開始 ※雨天・強風中止
上映映画 飛鳥山公園 (shibusawa hat-れすとらん麓前芝生エリア)

11.3 (金) 16:00~

上映予定作品



「東京まちなか超伯山」著の
中村みつさん監修登山ツアー！
飛鳥山を「山」としてあらためて
登ってみませんか？

起伏のある飛鳥山公園をナイトランニング。
完走後はかかろ浴場のサウナで整おう！

「王子勝手にPR隊」の
Instagramフォローで
お菓子をプレゼント！
画面をスタッフに
お見せください。

来場・観戦
無料

2023 11.18 [SAT] 10:00~16:00
飛鳥山公園 多目的広場

ASUKAYAMA PARK
150th ANNIVERSARY PROJECT
6th

上映の前の
おたのしみ！

10:00~16:00
北区グリーンフェスタ23
16:00~上映開始まで
ライブミュージックパフォーマンス

近隣の皆様には騒音などで大変迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
プログラムの内容や実施時間は予告なく変更する場合があります。本イベントは、公園を心地よく活用するための可能性を
探る実証実験プログラムであり、管理者の許可を得て実施しています。

ASUKAYAMA PARK #9
150th ANNIVERSARY PROJECT

山を楽しむ飛鳥山

～登って走って叫ぶ1日！～

飛鳥山登山

飛鳥山 ナイトランニング



「東京まちなか超伯山」著の
中村みつさん監修登山ツアー！
飛鳥山を「山」としてあらためて
登ってみませんか？

起伏のある飛鳥山公園をナイトランニング。
完走後はかかろ浴場のサウナで整おう！

「王子勝手にPR隊」の
Instagramフォローで
お菓子をプレゼント！
画面をスタッフに
お見せください。

飛鳥山150周年
プロジェクトの
詳細はこちらから！

2023年12月9日 土 ※雨天中止
※雨天中止になった場合、ナイトランニングのみ12/10に延期いたします。

主催 ▶ 飛鳥山公園150周年プロジェクト事務局 03-5390-1166 (平日9時~17時)
問合せ ▶ 090-2564-6290 (当日のみ) | 東京都観光協会
後援 ▶ 飛鳥山公園マネジメント協議会/大日本C・アメニス・内藤H・東北地区観光協会グループ
あすかクラークグループ/東京都北区/東京商工会議所/城北信用金庫
協力 ▶ 帝京大学/「渋谷栄一と貴い目の人形」文化交流実行委員会/「歌で伝える歴史文化の会」/COCOFURO かかろ浴場/中村みつ

ASUKAYAMA PARK #7
150th ANNIVERSARY PROJECT

新時代に 挑戦

3X3バスケを通して
共生社会の一步を作る

2023 11.18 [SAT] 10:00~16:00
飛鳥山公園 多目的広場

来場・観戦
無料

東京都北区・飛鳥山公園の
魅力向上事業「shibusawa
hat」では、様々なイベントを
開催し、様々な試みに挑戦し
ています。

地域の社交場として変わり
始めた飛鳥山公園にぜひお越
しくください。

サステナビリティ | 三笠市H-UCGによるブルー水素サプライチェーン構築実証事業

地域における水素利活用の促進に向け、水素社会実装のモデルを構築

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の2023年度「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発、地域モデル構築技術開発」公募事業に採択されました。

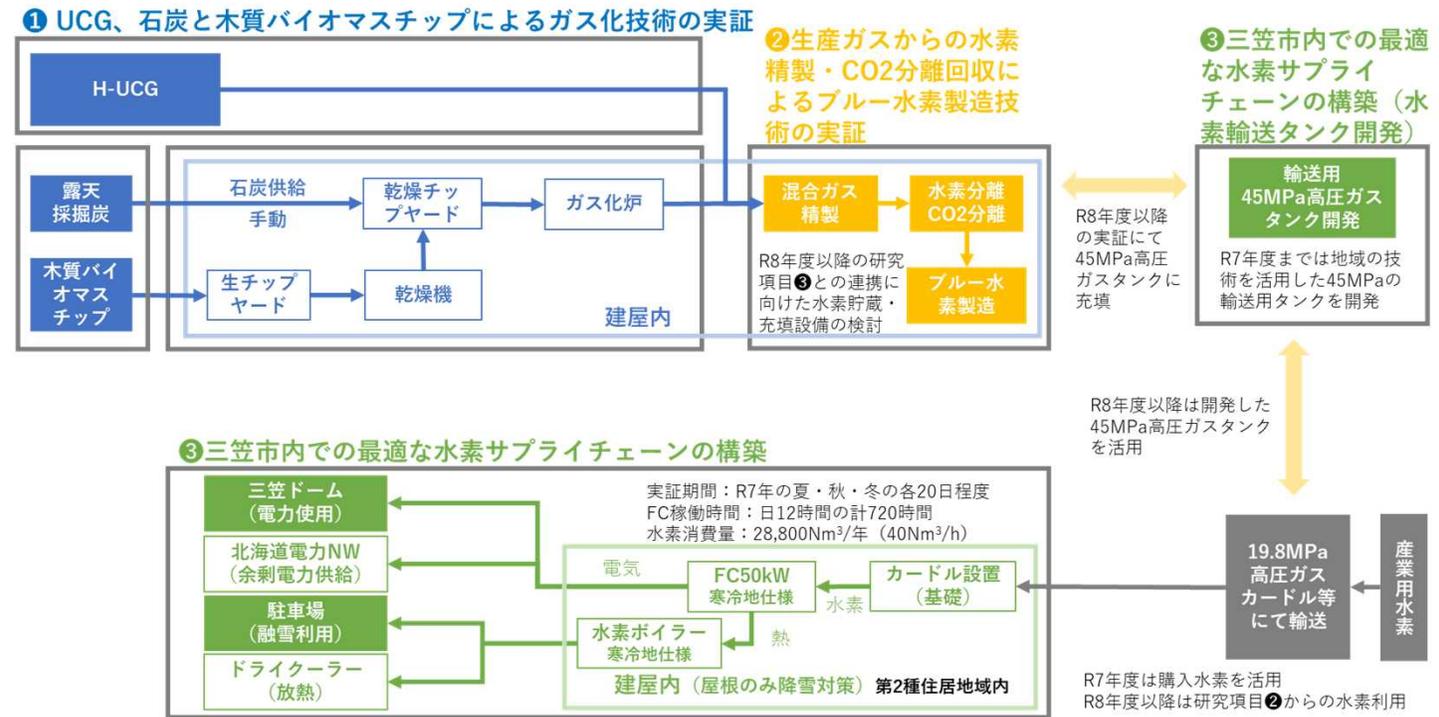
テーマ名：
三笠市H-UCG※によるブルー水素サプライチェーン構築実証事業

※H-UCG：ハイブリッド石炭地下ガス化

実施先：
大日本ダイヤコンサルタント株式会社、北海道三笠市、国立大学法人室蘭工業大学、エア・ウォーター株式会社、カワテックス株式会社

事業期間：2023年度から2025年度
(最長2026年3月31日まで)

NEDOニュースリリース
https://www.nedo.go.jp/koubo/SE3_100001_00053.html



※本実証事業は、期間中に調査結果に対するステージゲート審査を受けた上で実証に向けた継続の有無が判断される。

サステナビリティ | 中山間地の高校生が修復技術を競う石積み甲子園 協賛



2023年
11月4日 [土]

9時開始
16時15分終了

開催します!

第1回 石積み甲子園

Dry stone walling school of Japan

会場 徳島県立城西高校神山校から徒歩15分

主催：一般社団法人 石積み学校

お問い合わせ ishizumischool@gmail.com
090-7100-6638 (担当：金子)

HP <https://ishizumi-koushien.localinfo.jp>
Instagram @ishizumi_koushien



協賛：建設が、好きだ。



協力：徳島県立城西高校神山校、WEEK 神山、神山バレーサテライトオフィスコンプレックス、かまバン、里山みらい、Caffè ESTATE、TE TE CHA ...and more!
後援：神山町、神山つなぐ公社、徳島県、徳島大学人と地域共創センター

日本の原風景ともいわれる棚田や段々畑などに残る石積みの修復技術を高校生が競う「第1回石積み甲子園」が、石積み技術の伝承を目的に設立された一般社団法人石積み学校の主催により、2023年11月4日に徳島県神山町で開催されました。

大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、企業理念である「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」、および価値観「誠実に、現場、人、失敗から学び、社会に貢献する」に合致する当イベントに協賛しました。



第2四半期決算 連結貸借対照表

決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 期末	2024年6月期 第2四半期	増減額	前期比	備考欄
流動資産	14,018	18,054	4,036	128.8%	主な内訳 ・受取手形及び売掛金：829百万円 引渡しが完了した受注業務のうち、未入金の金額 ・契約資産：15,074百万円 進捗度に基づく売上高に対する未入金の金額
固定資産	7,006	7,039	32	100.5%	
資産合計	21,025	25,094	4,068	119.4%	
流動負債	6,888	12,027	5,139	174.6%	主な内訳 ・契約負債：1,113百万円 受注業務の引渡し前に入金された金額 (契約資産と相殺表示した後の金額)
固定負債	2,280	2,047	△232	89.8%	
負債合計	9,168	14,075	4,906	153.5%	経営統合に伴う、金融機関からの資金調達残高 1年内返済予定：214百万円 1年超：767百万円
純資産	11,856	11,018	△837	92.9%	
負債純資産合計	21,025	25,094	4,068	119.4%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

財務指標

自己資本比率	56.3%	43.8%	△12.5%	77.9%
1株当たり純資産	1,471円35銭	1,358円76銭	△112円60銭	92.3%

第2四半期決算 連結損益計算書

決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 第2四半期	2024年6月期 第2四半期	増減額	前期比	備考欄
売上高	14,841	14,428	△413	97.2%	➤ 収益認識に関する会計基準の適用に伴い、進捗度に基づき売上高を計上
売上総利益	4,288	3,738	△549	87.2%	建設コンサルタント事業 11,815百万円 地質調査事業 2,612百万円
販売費及び一般管理費	3,664	4,294	629	117.2%	➤ 当初より計画していた給与水準の引き上げや社員教育の充実に伴う積極的な人的投資を実施
営業利益 (△損失)	623	△556	△1,179	—	➤ シナジー効果の発現に向け、事業会社においてPMI活動を実施
経常利益 (△損失)	617	△543	△1,161	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△損失)	468	△424	△892	—	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

財務指標

自己資本当期純利益率	4.7%	△3.7%	△8.4%	—
総資産経常利益率	2.9%	△2.4%	△5.3%	—

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

ポイント

(研究開発費)

- 新たな成長ステージとサステナビリティ社会の実現に向けて、研究開発費予算を増加
- 防災・減災分野をはじめとする、事業会社の合併に伴うシナジー効果発現に向けた研究開発の実施

(設備投資)

- テレワークを活用したオフィス環境の整備
- DXによる生産性向上

発生状況

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 2Q	2024年6月期 2Q	前年同期比		通期計画	進捗率
	実績	実績	増減	比率		
研究開発費	61	83	22	136.4%	250	33.6%
設備投資	197	159	△37	81.2%	724	22.0%
減価償却費	209	199	△9	95.4%	441	45.2%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

主な実施事項

- 生成AIのサービス導入による業務効率化、その他AI活用スキルの向上
- 関東支社におけるフリーアドレス化の実施

2024年6月期 業績見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
通期計画	34,500	2,400	2,450	1,700

2024年6月期連結営業利益計画（詳細）

(単位)百万円	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期 (計画)	増減
売上高	32,580	34,500	1,920
原価・販管費	30,389	32,100	1,711
営業利益	2,191	2,400	209

【計画の前提】

- **売上拡大**
経営資源の相互活用によるシナジー効果の創出
脱炭素事業（風力・バイオマス・原子力発電関連業務）、
自衛隊施設関連業務を見込んだ売上高の増加
- **売上原価・販売管理費の増加（人的投資）**
売上高増加に伴う変動費増に加え、
従業員に対する給与水準の引上げ、事業拡大に伴う人員
増、福利厚生、教育訓練の充実、設備増強
- **事業拡大に向けた投資費用**
インフラマネジメント手法の確立
i-Construction BIM/CIM 生成AI技術等の研究開発
研究開発成果の事業化 DX促進

2024年6月期 配当予想

配当予想

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末
通期計画	—	—	—	65円

配当方針

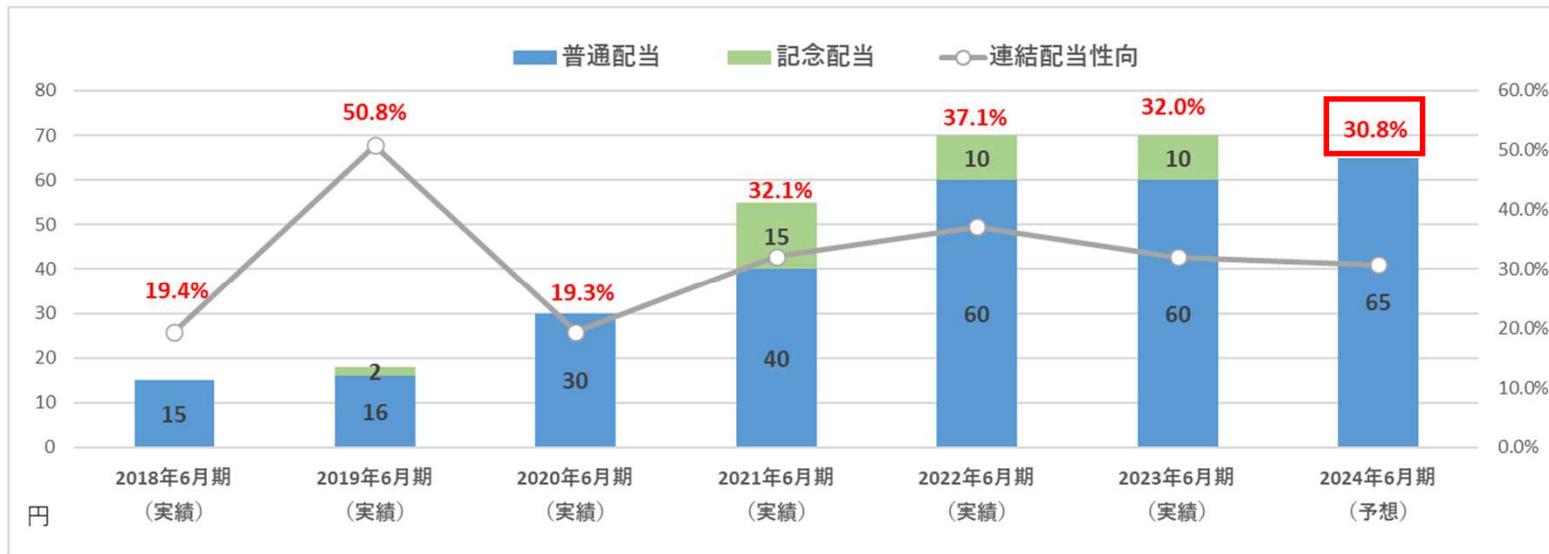
■ 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と自己資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を基本とします。

■ 連結配当性向30%以上を当面のターゲットとして、株主の皆様への安定的な配当の継続に努めます。また、市場環境や資本効率の状況などによって、自己株式の取得についても適宜実施する可能性があります。

■ 内部留保資金は、将来の事業展開を見据え、持続的成長に向けた戦略的投資、財務レバレッジの向上と財務健全性の確保、持続的・安定的な株主還元の項目にバランスを取りながら効果的に活用することで企業価値の向上を目指します。また、自己株式の取得は、機動的な資本政策の遂行を可能とすることなどを目的として、その必要性、財務状況、株価水準等を勘案して適宜実施します。

参 考

1株当たり配当金



当社は2021年7月14日付でテクニカル上場により東京証券取引所に新規上場したため、2021年6月期迄の実績値は、参考として大日本コンサルタント株式会社の配当金実績を示しています。

2024年6月期の連結配当性向は、2023年8月10日に公表いたしました通期業績予想に基づき算定しています。

統合報告書2023発行のお知らせ

 DNホールディングス株式会社

統合報告書 2023

人と自然が微笑む社会へ

WEBにて全文を
ご覧いただけます。



証券コード：7377

DNホールディングス株式会社は、この度『統合報告書2023』を発行致しました。

企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」のもと、サステナビリティ経営により、どのような方向を目指していくのか。SDGsへの貢献だけでなく、社会課題を解決することによって自らの持続的な成長、企業価値の向上を実現するための基盤と戦略を、財務・非財務の両面から説明しています。

『統合報告書2023』の概要

- DNホールディングスについて：企業理念、価値観、ビジョン | あゆみ | 財務・非財務ハイライト
- 目指す未来（ビジョン）：トップメッセージ | 価値創造プロセス | 中期経営計画2026
- 成長戦略：大日本ダイヤコンサルタント始動 | 分野別事業紹介 | 研究開発
- サステナビリティ経営：DNホールディングスのサステナビリティへの考え方
- データセクション：財務・企業情報

IRメールマガジン

投資家及び株主をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様に、当社をより一層ご理解・ご関心いただけるよう、最新のIR情報をタイムリーにお知らせします。

配信をご希望の方は、下記配信登録フォームより登録をお願いします。

URL : <https://www.dcne.co.jp/IR/mailmagazine>



メールアドレスをご登録いただいた皆様に対して、以下の情報をメール配信いたします。

- ・TDnet、EDINETを通じて公表した決算短信、有価証券報告書、適時開示等の情報
- ・コーポレートサイトに掲載したニュースリリース等の情報
- ・コーポレートサイトの一部新設、更新等の情報
- ・その他、皆様へお知らせすべき情報

会社概要

名称	DNホールディングス株式会社	
英文名	DN HOLDINGS CO., LTD.	
所在地	東京都千代田区神田練塀町300番地	
設立日	2021年7月14日	
資本金	20億円	
事業内容	建設コンサルタント事業及び地質調査事業等を営む子会社等の経営管理及びこれらに附帯又は関連する一切の事業	
取締役	代表取締役社長執行役員	新井 伸博
	代表取締役副社長執行役員	野口 泰彦
	取締役副社長執行役員	楠本 良徳
	取締役（監査等委員（常勤））	吉村 実義
	取締役（監査等委員（非常勤））	林田 和久
	取締役（監査等委員（非常勤））	井上 毅

DNホールディングスグループ会社の概要

商号	本店所在地	設立年月	資本金	出資比率	決算期	事業内容
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	東京都千代田区	1963年1月	13億99百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント 地質調査
NEテクノ株式会社	埼玉県さいたま市	2009年10月	20百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント
Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.	ベトナム国 ホーチミン市	1996年11月	300 (Thousands of U.S. dollars)	100%	6月30日	CAD設計
有限会社エーシーイー試錐工業	北海道 札幌市	1990年6月	3百万円	100%	5月31日	各種調査ボーリング
合同会社ふじおやまパワーエナジー	静岡県 駿東郡小山町	2018年8月	10百万円	80%	3月31日	エネルギーサービス
株式会社清流パワーエナジー	岐阜県 岐阜市	2015年11月	60百万円	50%	3月31日	エネルギーサービス



DNホールディングス



有限会社エーシーイー試錐工業



株式状況（2023年12月31日現在）

株式状況

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	8,420,000株

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	比率（%）
光通信株式会社	580	7.17
D Nホールディングス社員持株会	487	6.02
D Nホールディングス社友持株会	417	5.16
ダイヤコンサルタント職員持株会	358	4.43
株式会社北陸銀行	325	4.02
株式会社U H Partners 2	294	3.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	274	3.38
古河機械金属株式会社	190	2.35
株式会社三菱UFJ銀行	189	2.34
川田テクノシステム株式会社	172	2.13

- 注1 比率は、発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する持株数の割合を示しています。
- 注2 大株主の表には、当社が所有する自己株式322千株は除外しています。
- 注3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数のうち、信託業務に係る株式数は274千株です。なお、その内訳は、信託口137千株、退職給付信託口137千株です。

株主メモ

お問い合わせ窓口

DNホールディングス株式会社 経営企画本部
電話番号：03-6675-7002（代表）
e-mail：info@dcne.co.jp

IR年間スケジュール



ホームページのご案内

企業情報、事業概要、IR情報などを公開しております。

<https://www.dcne.co.jp/>



注意事項

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における当社グループの業績が、現在の当社グループの将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



DNホールディングス株式会社

人と自然が微笑む社会へ

